

ふじさわ・九条の会ニュース



NO2

発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 斉藤隆夫 0466-35-7104

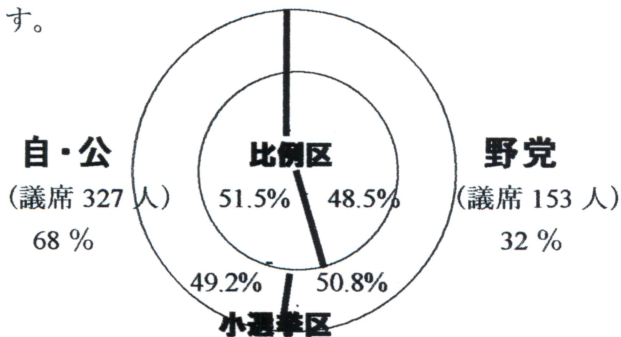
Eメール fujisawa9jo@infoseek.jp HP <http://fujisawa9.hp.infoseek.co.jp/>

「9条の会」 今こそ出番

—総選挙結果は「改憲白紙委任」ではない—

9月11日投票された総選挙の結果、自民・公明などの与党勢力が改憲発議に必要な3分の2を超える議席を確保しました。この主な要因は、次の2点と考えられます。

今回の総選挙の問題点の第1は、選挙制度の問題です。自民・公明の合計得票率は、比例代表制で51%、小選挙区で49%で、国民半分程度の支持しかありません。それにもかかわらず、自公で3分の2以上の議席を確保したのは、二大政党に極端に有利になる小選挙区制の弊害によるものです。



—総選挙における与野党の得票率、獲得議席数—

第2は「だましのテクニック」に終始した小泉戦略の影響です。自民・公明両党は、郵政民営化を今回の選挙の最大の争点にしたてながら、他方では両党の選挙公報には、「憲法」の文字さえ一切出さず、徹底的に憲法問題を隠しました。ところが、選挙が終わるや翌日のNHK討論会で、武部自民党幹事長は、「別に郵政一本だけではありませんからね。マニフェストにはいろいろかいてありますからね。」と述べ、「改憲」や「消費税増

税」も国民に支持されたかのような発言をしました。

早速、自公両党は、民主党を巻き込んで国会に特別委員会を設置、改憲のための国民投票法案の審議を急ごうとしています。また、自民党は、11月に党大会を開き「新憲法草案」を発表する予定です。

しかし、今回の総選挙で、国民は小泉首相に「憲法改正」まで白紙委任したのでしょうか。テレビやマスコミで二大政党論や小泉「改革」の大キャンペーンがはられるなかで「護憲」を鮮明にしている共産党や社民党が、比例区で合わせて900万票近くを確保して反転にできる足場を築いたことです。しかも900万票の背後には、「9条を変えないほうがよい」という国民が51%（朝日新聞5月3日世論調査）もいるのです。

今後、改憲や増税論議が進むなかで、今回の選挙で改憲勢力に投票した国民も「こんなはずではなかったのに」と気づきはじめるでしょう。草の根から運動を進めて行けば、改憲をストップさせることは十分可能です。

まさに「9条の会」今こそ出番です。

そして、私たち「ふじさわ9条の会」は、改憲の狙いが「海外で戦争できる国」にすることであり、国会での国民投票法案も審議はその第一歩であることを明らかにしながら、全国の仲間とともにその一翼を担って奮闘する決意を新たにしていきたいと思います。

(文責・大山)

元気をもらった「九条の会」 有明コロシアム講演会

7月30日、東京・有明コロシアムで「九条の会 有明講演会」が開かれ、全国から9500名もの皆さんが集まりました。

ふじさわ・九条の会から参加した、事務局長の斉藤さんから、次のような感想が寄せられました。「平和を守ろう」という抽象的な言葉ではなく、「日常生活を守ろう」ということで具体的な話をして九条を守って行こう」という井上ひさしさんの話が印象的でした。



—9500人が参加した有明講演会—

ささやかな、様々な日常生活、これらの継続は、平和でなければできないことです。安心して眠ることができる夜、趣味や仕事、友人たちとの自由な会話が、いつまでもできることを願っています。

(斉藤)

増田れい子さんをお呼びして 「大庭九条の会」結成



—増田れい子さん—

7月27日、大庭市民の家に30余名の皆さんが集い「大庭9条の会」が結成された。発起人の白崎さんが西部団地の一軒一軒声を掛けよびかけたもの。集会では増田れい子（橋のない川の住井すゑさんの娘）さんが講演。「今若い人たちは憲法について深く考えていない。そこを改憲派はねらっている」と語られた。また、生前、住井さんは「私が亡くなったら地獄にいて昭和天皇に312万人もの人を殺した責任をどうとるのか詰問したい」と述べていたというエピソードが印象的でした。(折原)

—「憲法改正問題」で12区候補にアンケート—

「ふじさわ・九条の会」では、総選挙告示に先だて、12区から立候補を予定されていた4氏に、「憲法改正問題」でアンケートを実施しました。そして、このアンケート結果をもとに、8月28日、「憲法九条のこと、忘れないで、投票に行きましょう」というピラを、藤沢駅サンパール広場で配布しました。(回答はアイウエオ順)

社民党 阿部 知子さん

- ①憲法9条は 改める必要はない。(守る)
- ②憲法9条についてのご意見
「9条はアジアへのパスポート」—21世紀の日本とアジアの関係を友好的なものにするために、憲法9条は大きな意味を持っていると考える。

自民党 桜井 郁三さん

- ①憲法9条は 改めるべきである。(改定)
- ②憲法9条についてのご意見
(ありませんでした)

民主党 中塚 一宏さん

- ①憲法9条は 改めるべきである。(改定)
(守る) —原文のまま—

②憲法9条についてのご意見

日本国憲法の根本原則である平和主義を継承し、より分かり易く、具体的に、改めるべきと考えるが、現行の9条のままでも、差しつかえはない。

日本共産党 沼上 常生さん

- ①憲法9条は 改める必要はない。(守る)
- ②憲法9条についてのご意見
憲法改憲の動きの根本には、アメリカの先制攻撃の戦争に日本を参加させようという「日米同盟」の危険な変質があります。海外での武力行使の歯止めになってきた九条は国民の大切な宝です。「戦争をする国」づくりにさせないために全力をつくします。

「憲法守ろう9の日行動」

毎回、創意をこらし、市民にアピール

「ふじさわ・9条の会」では、5月より、憲法9条にちなんで、毎月9日に「憲法を守ろう9の日行動」を行っています。この間、9月まで、5回行いました。毎回、創意をこらした宣伝に、1000枚近いビラを撒ききり、市民の関心も強まっています。

<第3回 7月9日>

シンボルマークのTシャツが

藤沢市民に訴えた！



7月9日(土)、藤沢サンパール広場午後2時～4時の間に20余名の参加で1200枚のチラシを配布を行いました。

今回はシンボルマ

ークのTシャツができてきたので、それを着てチラシを配布しました。

シンボルマークのTシャツは、よく映えました。私が配っているところへ中学生(?)の男の子が来て、「カッコイイシャツだ」と言ってくれました。私もその気になって、男の子に”勉強、勉強、9条をしっかりと読んでね”と言ってチラシを渡しました。この子たちの年代の人に憲法をもっともって知って欲しいという願いを込めて。

<第4回 8月9日>

七夕の短冊に願いをこめて



8月9日(火)は、辻堂駅前広場で勤め帰りの市民に訴えました。

旧暦の七夕と長崎原爆記念の日ということで、笹2本

(会員のNさんの協力で、切り取ったばかりのもの、お陰で最後まで笹の葉が落ちなくて、周りを

汚さずにすみません。Nさんありがとう。)と、たんざくを用意しました。

今回のチラシは大庭在住の朦朧(もろ)さんから寄せられた「九条の似合う町」という詩をのせました。また道行く子どもたちには、折り紙のトトロや鶴を渡したりして、この日(七夕と原爆)にふさわしいチラシ配布ができました。5:30～7:00までの短い時間に900枚のチラシを配布しました。参加者40名、ごくろうさまでした。

<第5回 9月9日>

トトロの折り紙が好かれて

毎回たくさんの方の参加で藤沢駅サンパール広場にぎわす「九条の会」のチラシ配布。

今回は6時～7時30分の帰宅を急ぐ人たちに「九条」を訴えました。

女性会員が作ってきたトトロの折り紙が女子高校生に人気。トトロの折り紙を出しながら女子高生と会話する会員の姿が広場のあちこちで見られました。30人の方ご協力ありがとうございました。

9の日ビラを読んで

「ふじさわ・九条の会」に入会

40歳の会社員です。家族は妻1人と娘1人です。

私は反戦平和に何か具体的活動が出来ないかと以前から思っていました。

そんな折、先日の辻堂駅前でのPR活動に出くわし、「藤沢にも9条の会が発足したのか」と嬉しく思い早速署名をし入会の意志を伝えさせて頂きました。

私が平和への思いを強くしたのは、イラク戦争への日本の加担からです。それからは憲法改悪論議や軍国化へ突き進む多くの法案の実態をみるにつけ、何とかこの流れを阻止しないといけないと強く思うようになったのです。みなさん、よろしく。(TK生)

市内の「9条の会」 結成の動き

藤沢市内での地域、職場9条の会は、大庭9条の会に続き、結成もしくは結成の準備が進められています。

「医療生協9条の会」

医療生協ふじさわ9条の会は、5月19日に、組合員、職員、患者、利用者の皆さんを中心に「9条の会」アピールに賛同する、人々で結成されました。ふじさわ・九条の会や地域9条の会との連帯を強めて、地域、職場で憲法改悪を許さない運動を大きく前進させて行きたいと思っています。

(早坂)

「江ノ電沿線9条の会」

江ノ電沿線に住む方に集っていただいて、「9条について」、「戦争について」考え、伝え、知ってもらえるような会を作ろうと、ただ今、準備中です。焦らず、急がず、ゆっくりと、すき間を埋めるような、緩やかでしっかりした活動をしたいと考えております。(折原)

「六会・9条の会」

六会では、地域9条の会を結成しようと、6月から7回準備会を開き取り組みを進めています。現在、準備会会員は25名で、年内100名規模の会の結成を目指しています。(曲田)

<お知らせ>

「ふじさわ・九条の会」主催の ビデオ上映会においで下さい

すでにハガキで連絡済みですが、下記により ユンカーマン監督の「映画日本国憲法」のビデオ上映会を実施します。みなさん、おいで下さい。150名以上の参加を予定。

「映画日本国憲法」ビデオ上映会

「チョムスキー9・11」「老人と海」のジャン・ユンカーマン監督が撮った世界からよせられた日本国憲法への熱いメッセージ

'05年10月25日(火)18:30～

藤沢市民会館 第二展示ホール

参加費 500円

世界から見た
わたしたちの憲法
あなたには、この宝物が
ありますか。



『映画日本国憲法』ビデオ上映会

<シンボルマーク入りTシャツ 残っています>



7月に作ったシンボルマーク入りTシャツがまだ10着ほど残っています。9の日行動の街頭ビラまきにはたいへんきれ

いで宣伝効果もあり、好評です。1着2000円で、事務局で取り扱っています。是非、お求め下さい。

=事務局より=

会の運営について、これまで事務局、世話人会で進めてきましたが、個別の対策については、次の3つのグループ担当で進めることになりました。

グッズ担当～シンボルマークを活用して、しおりやTシャツ、クリアーフォルダーなどを作り、販売して会の宣伝や財政活動を進める。(島田・堀内・桃井・曲田)

渉外担当～いろいろな立場の方と個別に話をし、て会員になっていただく対策を進める部門(大山・久保・斎藤・岡村・坂本・西山・小林)

ニュース担当～会の運動や行動を会員の皆さんに伝えるニュースを定期的に発行する部門(小林・折原・永田・河西)